

## 授業の様子をイメージして

鉛筆やノートと同じようにPCを活用しながら学ぶことが当たり前の社会になります。だからこそ、正しく活用できる力を学校、家庭、地域が協力して育てていく必要があります。どんな学習が行われるようになるのか具体的な姿を例示していきます。

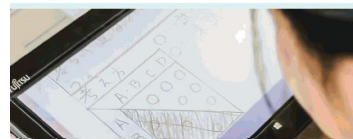
### ●オクリンク



子供たちの思考を止めず、一人一人が考えやアイデアを思い思いに表現することを支援。先生や友達と共有し、全員参加で深まる授業となる。



◆説明したい順序に資料を結べば、  
スライドショーの完成！



◆カメラを使い画像や動画を保存



◆全員のカードを共有し、深める

### ●ドリルパーク



個人にあったレベル・ペースで、知識の確かな定着や主体的に学ぶ姿勢をめざします。



◆授業用と放課後用を区別して取組状況を整理

◆選択式、分類式、  
並べ替え式、キー  
パッド入力式、直  
接入力式と多様な  
回答形式

■漢字の書き取りは手書きで



◆漢字は手書き入力



◆個人の習熟状況に応じて、ドリルを提案

★作成されたノートは、教科・日付ごとに保存し、個人ごとのノートと同じように整理。ドリルの取組状況も合わせて保存され、個人の学びの状況が一括で管理されます。  
★デジタルドリルは、初期導入にあたり町で経費を負担しております。今後、紙の教材とどのように組み合わせれば効果が高まるのか検証していきます。紙の教材の経費削減を図り、デジタルドリルの個人負担額を検討してまいります。

ちょっと  
待って!

## よく考えよう情報モラル

### CASE 1 友達と一緒に動画を撮ってアップしました



楽しく撮影して友達に公開した動画でした。  
しかし、動画の中で後ろにクラスメイトが何人か映り込んでいました。  
公開したものを削除しましたが、すでに友達から友達に拡散されていて削除依頼を出してもすぐには削除できない状態となりました。

#### 同意なく撮影したものの公開

#### ⇒肖像権の侵害になる可能性も

もしも、自分の見られたくない嫌な姿を公開されてしまったら・・・  
「自分だったら」という当事者意識をいつでも持ちたいものです。  
公開する前に、**本人に確認**をとること、**映り込まない場所**で撮影することに気をつけます。

### CASE 2 SNSに近所のお祭りに出かけたときの様子をアップ

友達との思い出をみんなに伝えたくて、アップしました。  
しかし、画像の中に住所特定につながる施設や看板が映っていました。また、画像のGPSデータをそのままにしていたため、一緒に映った友人とともに、第三者に住所が特定されてしまいました。

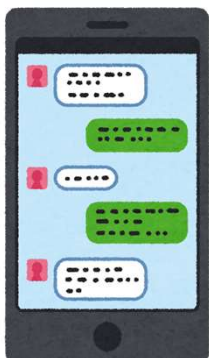


#### 住所や個人情報が特定される可能性がある

#### ⇒看板、建物、GPSデータに注意

特定の相手に公開したものでも、拡散の恐れがあります。  
意図せず自分以外の誰かの情報まで広がらないよう、**すべてが情報**であるという意識が大切です。

### CASE 3 LINEのやりとりでトラブル発生



クラスのグループLINEで、大勢でトークをしていた時、「○○ちゃんてさ、いっつもおもしろくない」と送信しお風呂に入りました。戻ってから、「?」をつけ忘れていたことに気が付いた時には、「ひどい!」と非難の嵐。あっという間にグループから仲間外れにされてしまいました。

#### グループトークは、行き違いが生まれやすい

#### ⇒顔が見えないからこそ、心を推し量る

相手の時間に合わせて返信を待つことが前提。**返信がすぐ来ないことは当たり前**であること、**文字だけでは伝わりにくいこと**を互いに理解すること、**感情をぶつける前に一呼吸**おいて心を推し量ることが大切です。

ネットトラブルの様々な事例がインターネットに公開されています。  
学校、家庭が協力して指導し、見守っていきましょう。

